

# 平成29年度 自己点検・評価 総括

## 1. 学園理念

学園理念「心をこめて 心をつくして 心を伝える」に基づき、かけがえのない一人ひとりの心に寄り添い、個性を大切にする教育を目指している。

## 2. 教育目標

「心も体も健康で たくましく伸びゆく子ども」を目標に、一人ひとりの子どもの心に寄り添い、個性に応じた援助をしながら、生活習慣や社会性を身につけるとともに、子どもの可能性、創造性を伸長する教育を目指している。また、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係にささえられた生活、友達と充分にかかわって展開する生活、さまざまに直接的な体験ができる生活を大切にしている。

## 3. 本年度の自己評価

<b>I 園の基本姿勢について</b>	全般的に学園・園の運営、教育方針に基づいて教育が行われている。また、園児一人ひとりの発達にあわせて指導、援助するとともに、認定こども園としての社会的責任や子育て支援業務についても理解している。
<b>II 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解について</b>	幼保連携型認定こども園として教育・保育の基本を理解しているとともに、発達の連続性や一人ひとりの園児の状況に考慮して教育・保育を行っている。また、年齢に応じた発達を確保しつつ、異年齢との交流を図るとともに、必要に応じて関係機関との連携を図っている。 保健計画、安全計画、食育計画を作成し、指導に位置付けるとともに、緊急時には組織として対応できるように緊急時のマニュアル化をしている。 保護者へ説明などを通して相互理解を深め、保育への積極的な参加を促し子育て支援を行っている。また、地域性や専門性に考慮して地域支援を行っている。 園児一人ひとりの状況や年齢に配慮した教育、保育を行っている。また、保育者との信頼関係を築いて情緒の安定を図るとともに、保護者には教育や保育に関する理解が深まるようにしている。
<b>III 園独自の取り組みについて</b>	園の特色教育について理解するとともに、園独自の事業についても理解している。また、内部研修、外部研修に積極的に参加し、自己の啓発に努めている。

IV 人事管理について	法規に則り、適切に対応している
V 安全管理について	園児や施設設備に関する安全対策、また、衛生に対する安全管理も適切に行われている。 今後も安全対策、安全管理を適切に行い、事故を未然に防ぐことができるように、引き続き管理していくことが必要である。
VI 財務管理について	法規に則り、適切に処理されている。

#### 4. 総合評価

- ・概ね学園や園の運営、教育・保育方針及び認定こども園教育・保育要領に基づいて教育・保育計画を作成し、実践している。ただし、中途入職者については研修が十分行われず、学園や園の運営、教育・保育方針を十分理解しているとは言えないところがあった。
- ・園児一人ひとりの状況や発達の段階に応じて教育・保育を行うとともに、必要に応じて関係機関との連携を図ることができた。
- ・幼保連携型認定こども園としての機能については理解を深めることができた。
- ・安全、人事、財務管理については、全般的に概ね適切に管理されている。

#### 5. 保護者アンケート結果

- ・本園の教育・保育方針、教育・保育内容について、全般的に理解を得られている様子が伺える。
- ・本園の給食の評価や保護者への対応については、概ね適切であるとの評価をいただいたが、前年度と比較して評価ポイントが低下しているため、対応や理解を得るための努力が必要である。
- ・保護者が参加する行事を多くすることについては、前年比一層評価が低くなっていることから夫婦共働きが多く忙しい生活をしている様子が窺える。

#### 6. 今後の課題

- ・幼保連携型認定こども園として、就学前教育・保育の一層の機能の充実を図ること。
- ・教育・保育の持続的な継承のために次世代育成を図ること。
- ・中堅職員のキャリアアップを図るため、教育・保育研修への積極的な参加を促すこと。
- ・幼児教育・保育の専門家として今後も継続的な研究を進めること。